

授業参観・教育講演会ありがとうございました

9月9日(火)の授業参観と教育講演会には、お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。

教育講演会では、サガテレビアナウンス室長の鶴丸英樹さん(芦刈小中学校出身)をお招きし、「佐賀を知り、ふるさとに誇りを」というテーマでご講演いただきました。

鶴丸さんは、これまでの生い立ちや現在の仕事を選ばれた理由を、分かりやすくお話しくださいました。大学生の頃、吉野ヶ里遺跡や佐賀での大雨災害のニュースを全国で目にする一方、全国的には佐賀のことはほとんど知られていないと感じ、「全国の人に自分の言葉で佐賀を伝えたい」という思いと、ふるさとへの愛情からサガテレビに入社されたそうです。



また、経験することの大切さについて、「百聞は一見に如かず」、さらに「百聞百見は一験に如かず」という言葉を紹介されました。実際に見て、さらに体験することで深く学べることもある、と強調されました。最後に、子どもたちへ次の3つのメッセージを贈ってくださいました。

○いろんなことを体験しよう!

…自分が興味をもったことは、現場に足を運んで体験してみよう。

○井の中の蛙になるな!

…どんどん外に飛び出そう。世界はつながっていて、意外と近い。

○ふるさとに誇りを持とう!

…離れてみると、ふるさとの良さがより分かる。

「いろいろな経験をして外の世界を知ったうえで芦刈に住むもよし、別の場所に住んでいても、いろいろな形で芦刈に貢献してほしい。ふるさとは心のよりどころです」という言葉は、子どもたちにとっても、私たち大人にとっても心に響くメッセージでした。

7年生・2年生昔遊び体験

9月5日(金)、7年生と2年生が合同で、11名のボランティアの方々に教わりながら昔遊び体験を行いました。学年混合のグループに分かれ、4つの会場で、メンコ・コマ・お手玉・けん玉・羽子板・ヨーヨー・竹とんぼなど、さまざまな遊びに挑戦しました。

けん玉の技を披露する7年生を見て2年生が挑戦したり、ボランティアの方に教わりながら竹とんぼを何度も飛ばしてみたり、羽子板に夢中になったりと、どの会場も笑顔でいっぱいでした。学年を超えた交流や地域の方とのふれあいを通して、楽しく、そして充実した時間を過ごすことができました。



4年生下水道教室

9月8日(月)、4年生が牛津浄化センターで下水道教室を行いました。牛津浄化センターは、家庭や学校から出る汚れた水を集め、きれいな水にして川へ戻す施設です。見学では、職員の方から浄水場との違いや水をきれいにする仕組み、機械の働きなどについて説明していただきました。実際に水がきれいになっていく様子を見学し、子どもたちは熱心にメモを取りながら話を聞いていました。自分たちの生活で使った水がどのように処理され、自然に戻されるのかを学ぶことができ、水の大切さをあらためて感じる時間となりました。



6年生地域学習

9月9日(火)、6年生が総合的な学習の時間に「伝えよう あしかり再発見」をテーマとした地域学習に出かけました。児童は課題ごとのグループに分かれ、有明海水産振興センター、いちご農家、乙宮神社、あしばるの4か所を訪問し、調べ学習を行いました。

有明水産振興センターを訪問したグループは、施設見学に加えて干潟体験もさせていただき、実際に有明海の自然にふれることができました。あしばるを訪問したグループは、町づくりフォーラムの飯盛さんや西村さん、先日講話をしてくださった楠田さんに、芦刈の夏祭りや沖ノ島参りについてインタビューを行いました。

10月4日(土)の文化発表会では、今回の学習で調べた内容をそれぞれのグループでまとめ、全校児童に発表する予定です。6年生の発表を通して、芦刈の魅力を再発見する機会になることを楽しみにしています。



2年生校外学習

9月11日(木)、2年生が生活科「みんなでつかうまちのしせつ」の学習で、地域にある芦刈保健福祉センター「ひまわり」を訪問しました。はじめに、子どもたちから「かくれんぼ」の歌を元気いっぱいにプレゼントしました。続いて、自分たちで立てた計画に沿ってグループに分かれ、施設を利用されている方々とけん玉、ヨーヨー、メンコ、あやとり、おはじき、折り紙、トランプ、風船バレー、やじろべえなど、さまざまな遊びを一緒に楽しみました。最後はみんなでハイタッチをしてお別れをしました。子どもたちは地域の方々とふれあいながら、笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごすことができました。

